

理工学書・専門書は…
Nikkan BookStore
 日刊工業 本 検索
 日刊工業新聞社出版局のホームページ
<http://pub.nikkan.co.jp/>

2023年(令和5年)
7月3日
 月曜日

日刊工業新聞

購読申し込みはフリーダイヤル
 東京:0120-412346
 大阪:0120-597117
 名古屋:0120-462346
 福岡:0120-817120
 ものあす/monoasu.jp

記事コピー・転載のお問い合わせは
日刊工業新聞社 デジタルメディア局
 TEL 03-5644-7090
<https://corp.nikkan.co.jp/p/service/index>
 日刊工業 検索

本社(TEL)03-5644-7000東京都中央区日本橋小網町14-1/西日本支社(TEL)06-6946-3321大阪府中央区北浜東2-16/名古屋支社(TEL)052-931-6151名古屋市東区泉2-21-28/西部支社(TEL)092-271-5711福岡市博多区古門戸町1-1

G X非課税など 時限的対策を

ニイガタ・渡辺学社長
 ①消費者物価の上昇で従業員の生活に影響がある。生活に不安を抱かず安心して業務に取り組めるよう、23年度は賃上げ(平均4.84%)した。
 ②賃金体系を壊さないように採用活動をするが、賃上げと人材定着の因果関係が深いわけではない。しっかりした労働環境を実現し、諸制度も活用して希望とする人材の採用につなげたい。
 ③製造原価が上昇し、取引先から価格転嫁の理解を得ても実際の交渉は限定的。グリーン・トランスフォーメーション(GX)や脱炭素関連の仕事には税を課さないなど、ゲームチェンジャーになり得る「異次元」の対策を時限的に設定してはどうか。(横浜市鶴見区)

良いもの作り売る 好循環実現

ワカ製作所社長・若林佳之助氏
 ①企業の成長で賃金を上げて、消費も上げていくというのが世の中の流れだと考えている。当社でも賃上げは実施するし、今後も可能限り取り組んでいく。
 ②当社は9月決算なので10月には定期昇給する予定だ。コストを削っていく対策には限りがある。賃上げを今後も続けるために、良いものを製造して販売するという、分かりやすい好循環を作りたい。健全な成長により社員が納得でき、将来的に安心できる状態が大切だ。
 ③政府が賃上げを目指すことについては理解しているが、最低賃金の上がり方が急激なのは少々厳しい。賃上げについての支援や、総合的に景気を良くする政策を期待したい。(東京都新宿区)

「社員一律」は意欲削ぐ

アドバンスジャパン社長・古山裕氏
 ①今、賃上げをしなければ、物価高に(社員の生活水準の維持が)追いつかないことは明白だ。懸命に業務に取り組む、成果を出している社員にはできる範囲で報いたい。一律の賃上げは逆に社員のモチベーション低下につながると考え、実施する計画はない。
 ②取引先からの入社希望者が多く、大規模な求人をしていなくてもほしい人材は採用できている。人手不足感はなく、それを理由にした賃上げは行わない。
 ③社会保険料などの負担が増しており、手取り額減少につながっている。また各種補助金はどれも申請方法が煩雑で、初めから交付する気がないのでと疑うほどだ。政府にはこれらへの対策をお願いしたい。(埼玉県川口市)

国内での素材調達 後押しを

ウエノ社長・上野隆一氏
 ①基本的に全社員を対象に毎年、賃上げを実施している。社内の活力向上にも、賃上げの必要性を感じている。人件費は総額で増えている状況にある。
 ②(同社が手がける)ノイズ除去コイルをつくる人材は不足している。海外人材の活用を一段と考ねばならない。また開発部門などの人材に賃金面でのように報いていか、踏み込んだ施策を打ちたい。
 ③製造業の国内回帰の動きが活発化する中、中小における国内での円滑な素材調達を後押ししてほしい。革命的な素材生産の確立で、国内でも負けないモノづくりを実現する施策を期待する。競争力のあるモノづくりで利益を生めれば、賃金にも反映できる。(山形県鶴岡市)

構造的賃上げ 「価格転嫁」カギ

政府の支援も期待

原価低減へG X化加速

眞和興業・眞野祥典社長
 ①メッキ業の当社は典型的な内需型企業。人口減少に合わせて、業界全体では国内の仕事量が減少していくと考えている。雇用の確保、物価上昇を加味すれば、段階的な賃上げは必要だ。
 ②物価、労務費単価上昇を反映した値上げに理解を求めていく。併せて、原価低減の取り組みとして省エネルギー化・産廃の資源化などGX化を加速する。
 ③足元では各種の補助金制度、減税対策は製造業にとって助かる。少子化や事業承継などの課題に対しても、中長期的な視点で、しっかりと取り組んでほしい。持続的な成長を見据え、日本が抱える根本的な課題を解決し、国民が夢と希望を持つ政策を望む。(愛知県江南市)

部署単位で社内改善積極化

旭ウエルテック社長・山田樹裕氏
 ①(新年度の)8月から賃金を上げていく予定。従業員みんなで幸せになるべきだと考える。ただ、全体で一気に大きく底上げを図るかどうかは悩みどころだ。従業員の貢献度に応じて、上げ幅を変えることも検討している。
 ②コロナ禍でも将来に備え、20代半ばの若手を10人増やした。賃上げに向けた利益確保のため、部署単位での社内改善を積極的に行っている。
 ③働き盛りの世代は、子育て世代でもある。そうした従業員の子どもが、例えば(家計に過度な負担がない形で)習い事を行え、従業員が(業務に支障なく)その送迎を行えるような、公私ともに安心できる労働環境の整備を支援してほしい。(石川県白山市)

中小経営者の声

日本経済の活性化には元気な中小の存在が不可欠だ(イメージ)

政府は2023年の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」で構造的な賃上げを重要テーマに据え、中小企業を支援する考えを示した。賃上げ企業を税制などで優遇、賃上げを実施した赤字企業も支援策の対象とするよう検討、賃上げ分を取引価格に上乗せする「価格転嫁」を後押しといった方針を打ち出した。中小トップは賃上げとどう向き合うのか。「声」を集めた。

【質問】
 ①賃上げに対する基本スタンスは
 ②人手不足は深刻化しており、賃上げの必要性は高まる見通しです。どのように実現していきますか
 ③政府への要望は

実績上げ給与勝ち取る 風土に

佐原化学工業社長・桑畑康司氏
 ①給与制度を4月に改定した。土日を完全休日、残業は事前申請が必要な仕組みに変えた。能力や努力による評価である等級別給与体系に移行し「給与は実績を上げ勝ち取る」という意識への改革を進めている。
 ②全従業員の賃上げは競争力が低下し無意味。組織はピラミッド型となっており、各自の能力に応じた階層での適材適所や収入に落ち着くのが自然だ。
 ③大手・中堅企業が賃上げを強制的に受け入れるようにすべきだ。強制的な最低賃金引き上げやガソリン卸業への補助金に何の効果があるのか。最終製品価格は上昇しているが、中間流通での値上げが浸透していないことが、経済が回らない1番の元凶ではないか。(大阪府八尾市)

国の指針 価格交渉に便宜

ダイチ社長・山本大地氏
 ①職人の賃上げの必要性を以前から感じており4月に実施した。国が方針を示してくれたので、元請けメーカーも物価上昇対策や人材確保の必要性を理解してくれて価格交渉がしやすくなった。地域で半導体関連企業の集積が進んでおり、人材確保のため賃金を少しでも魅力的にする必要がある。
 ②いまだ人材確保は簡単ではない。当面は外国人労働者や再雇用、パート従業員らで対応する。
 ③元請けは料金が安い企業と契約する。交渉は難しいので、国が賃上げた中小への税制優遇措置などを講じてほしい。給与面などで若者が自信を持つよう、環境を整える制度や政策に期待する。(福岡県大牟田市)

価格見直し 大手の理解必要

三谷製作所社長・三谷晋一郎氏
 ①従業員の賃上げは必要なことと感じている。物価上昇はもちろんあるが、何でも受け入れよという考え方が浸透し過ぎた。よいものに、それなりの付加価値を認めるのは当然で、社会全体の意識が変わっていく必要があると思う。当社でも7月の賃金見直しのタイミングで賃上げを検討している。
 ②賃上げ普及には、買い手の大手企業側にも価格見直しの必要性を広く認識してもらう必要がある。価格だけでなく、過剰な品質や高精度の押しつけのような柔軟性のない調達方針も問題だ。
 ③賃上げ分を製品価格に反映する「価格転嫁」を実現できるかが1番の鍵。具体策に注目したい。(広島県尾道市)

効率化・経費削減を徹底

湯本電機社長・湯本秀逸氏
 ①従業員のモチベーションを上げるためにも賃上げは必要。当社では物価上昇への対応として、1月から正社員を対象に毎月1万円の手当を一律支給している。
 ②中小にとって継続的な賃上げが難しいのは、利益率を簡単に上げられないから。材料費の上昇を取引価格に転嫁すると離れてしまう顧客もいる。デジタルマーケティングや営業支援システム(SFA)の導入で効率化を進め、経費削減に努めている。
 ③人件費総額の増減で賃上げできたかを計るのではなく、従業員1人当たり何%賃金上がったのかを精査してほしい。実態に即した尺度で状況を見極め、政策につなげることを望む。(大阪市東成区)

あなたの身近にいつも…アキレス

マモルをツナグ。

私たちアキレスがつくっているのは、
 素材や製品がもたらす機能だけではありません。
 世の中に役立つ「マモル」という価値。
 そのひとつひとつが、日々の暮らしやビジネス、災害の現場まで、
 さまざまな領域で社会的課題の解決に貢献しています。
 より豊かな毎日を、より笑顔があふれる未来を
 これからもお届けしていきたいと考えています。

“マモルをツナグ。”とともに。

アキレス株式会社 本社：〒169-8885 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー